

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当 部署	部局名	教育委員会		
	課名	学校給食センター		
	係名	庶務係		
	記入者	大橋 豊	電話(内線)	32-1010

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	計画 予算	食育推進事業	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	主要事業			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	41109	(総合計画掲載 ^ハ -ゾ 104 ^ハ -ゾ)		会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分	市単独	
基本施策	1 生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)			予算科目	款 10	項 6
施策	教育内容の充実			事業名称	目 3	
施策内容	学校給食をいかした食育の推進			予算書上の	(予算書 ^ハ -ゾ に掲載)	
(5) 事業期間	開始	22 年 4 月から	終了	年 月まで (^ハ 力年)	(8) 事務分類	
				根拠法令		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者(だれを・何を)	児童(2,805人), 生徒(1,385人), 教職員(304人)	(3) 事業内容(具体的に何をを行うのか, そのために何をを行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとにテーマを決め, 食育授業・給食時の食育指導を行い給食残量の低減を図る。 ・体験学習「給食センターしらべ隊」「サマーキッズ・クッキング」を親子で体験し, 食の関心を高め望ましい食習慣を身につける。
(2) めざす姿(どのような状態にしたいのか・意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食作りを体験し児童生徒及び保護者に望ましい食習慣を身につける。 ・食育授業や給食時の食育指導を通して, 好き嫌いをなく食べることの重要性・食の大切さを理解させ給食残量の低減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の全体計画(※計画等がある場合, H24年度末時点で記入) 	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見, 他市の状況など(※1-(8)事務分類 法定受託の場合は, 記入必要なし)	楽しいイベント等を通し, 給食調理の実際や調理に携わる人の心に触れ, 食への感謝の心を養い, 望ましい食習慣を身につけ, 好き嫌いをなく食べることの重要性を理解させ給食残量の低減を図る。		
		・総事業費	千円
		・進捗率	%

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映			
実施計画						
● 予算内訳	実績・決算額(千円)	予算額(千円)	計画額・見込額(千円)			
	24 年度	25 年度	26 年度			
	27 年度	28 年度				
(1) 事務事業費の コスト	事業内容					
	需用費	200	200	200	200	200
	コピー用紙, バイク給食用消耗品					
	合計	200	200	200	200	200
	国庫支出金(千円)					
	県支出金(千円)					
	地方債(千円)					
その他特定財源(千円)						
一般財源(千円)	200	200	200	200	200	
合計(千円)	200	200	200	200	200	
補助・起債制度名						

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

--

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	イベント開催数 (給食センターしらべ隊及びサマーキッズ・クッキング)	目標値	回		1	1		
		実績(見込)値		2	1			
	食教育実施 (食育授業, 昼食時の食育指導)	目標値	回		120	115	115	115
		実績(見込)値		120	115			
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	イベント参加者	目標値	人		50	50	50	50
		実績(見込)値		90	48	50	50	50
		達成率		180.0 %	96.0 %			
	給食残量	目標値	%		14	13	13	13
		実績(見込)値		14	14	13	13	13
		達成率		107.7 %	107.7 %			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目	評価の指標	客観的評価点及び評価理由
1. 目的妥当性	①事業の必要性,緊急度は高いですか？	5 ますます必要性は高くなっている(または, 緊急性が極めて高い)
	②行政が実施すべき事業ですか？	3 どちらとも言えない
	③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？	4 目的とした対象者に対しては, 概ね広く便益を提供している
12 A	補足 ②保護者を含めた協同によるイベントの開催も検討の余地がある。	
2. 効率性	④事業の手段(やり方)は適切ですか？	3 どちらとも言えない
	⑤コスト効率, 人員効率は高まっていますか？	3 どちらとも言えない
6 B	補足 食材は参加者が負担している。	
3. 有効性	⑥活動指標, 成果指標は達成されていますか？(指標達成度)	4 概ね目標水準に達している
	⑦事業の成果の進捗は順調ですか？(進捗度)	4 計画どおり, 順調に進んでいる
	⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)	4 基本施策への効果が高まる, または基本施策の効率化が図れる
12 A	補足 ⑥活動指標, 成果指標は達成されている。昨年度は給食センター調べ隊, サマーキッズ・クッキング締め切り後も参加希望の申し込みがあった。	
4. 総合評価	事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。 「給食センターしらべ隊」は給食センターの調理器具を使用し給食作りを体験することで給食を理解してもらうために大変有効であるが, 夏休み親子料理教室である「サマーキッズクッキング」については同様の目的・対象者としたイベントが他にも行われているため, 参加者が減少しているため, 同様のイベントを開催している主催者と協議し共同開催とする。	
30 / 40	[5×8項目]	
5. 対応策・提言等	この事業をどのように改善・改革をしていきますか？ 平成25年度 [事業実施段階における改善点] 家庭で, 児童・生徒が自ら調理に取り組む姿勢と望ましい食生活を育むため, イベントへの工夫と保護者のニーズを取り入れて継続実施する。給食時の食育指導については, 児童・生徒に解りやすく興味を持たせるために工夫を凝らした内容での指導を行うとともに, 学校・保護者を含めた食育に展開し給食残量の減少を図る。 平成26~28年度 [今後の事業見込による改善点や改革点] 家庭で, 児童・生徒が自ら調理に取り組む姿勢と望ましい食生活を育むため, イベントへの工夫と保護者のニーズを取り入れて継続実施する。給食時の食育指導については, 児童・生徒に解りやすく興味を持たせるために工夫を凝らした内容での指導を行うとともに, 学校・保護者を含めた食育に展開し給食残量の減少を図る。	

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	イベントを開催することにより一人でも多くの方が参加でき, 給食センターを理解し衛生管理の行き届いた中で作られる給食を残さず食べてもらえるよう, 嗜好を凝らした内容と受け入れ体制を検討する。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり